



平成19年4月20日

南海電気鉄道株式会社

みさき公園「メモリアル資料館」オープニングセレモニーの開催について

岬町内の3保育所に通う約140人を招待します！

南海電鉄(社長:山中 諄)が経営する「みさき公園」(泉南郡岬町/園長:川尻龍二)では、開園50周年記念の一環として「メモリアル資料館」を建設し、4月25日(水)にオープンします。

同館は、開園以来飼育していたインドゾウ「イズミ」の骨格標本などを展示するため、外装は50年の歴史や風格を感じていただける仕様にしています。

そこで、当日は同館の「オープニングセレモニー」として岬町内にある多奈川(たながわ)保育所・深日(ふけ)保育所・淡輪(たんのわ)保育所の3保育所に通う4、5歳児・約140人を招待するとともに、3保育園の5歳児の代表各1人(合計3人)と当園園長などによるテープカットを実施し、同館の完成を祝います。

詳細は別紙のとおりです。



4月25日(水)にオープンする「メモリアル資料館」(工事中)
【外装は50年の歴史や風格を感じさせる仕様にしています】

< 別 紙 >

「メモリアル資料館」オープニングセレモニーについて

1.開催日時

平成19年4月25日(水)10時20分～

2.開催場所

みさき公園「メモリアル資料館」モニュメント前

3.内 容

園長による開館の挨拶。

岬町内の多奈川保育所・深日保育所・淡輪保育所の3保育所に通う5歳児代表各1人(合計3人)と園長などによるテープカット。

園長から各保育所代表に記念品の贈呈。

3保育所に通う4、5歳児・約140人もオープニングセレモニーに参加します。

4.備 考

雨天の場合は、各保育所4、5歳児の来園は中止となり、当園関係者によるテープカットに変更します。

【参考】メモリアル資料館の内容について

同館は「ゾウ記念資料ルーム」「企画展示ルーム」「プレイゾーン」の3つで構成。それぞれの特徴は以下のとおりです。なお、同館への入館は無料です。(みさき公園入園料は必要)

1.ゾウ記念資料ルーム

平成16年にインドゾウ「イズミ」と「ミドリ」が亡くなって以来、未使用であった旧ゾウ舎2部屋のうち1部屋に「イズミ」の骨格標本やゾウに関する資料を展示します。

2.企画展示ルーム

旧ゾウ舎のもう1部屋は企画展示を実施するスペースになります。また同ルームでは、完成後まず最初に「50周年のあゆみ展」の開催を予定しています。

3.プレイゾーン

ゾウ、ウサギ、アカカンガルー、ゾウガメの形をした体験型遊戯具を設置し、お子さまに遊び、学んでいただけます。

(4)その他

同館入口にはお客さまや動物への感謝の気持ちを込めて「50周年記念モニュメント」を設置します。デザインはアミメキリン、リスザル、カマイルカ、トラ、ウミガメの5つの動物をデザインしています。また、頭文字を取って「ありがとう」と読んでいただけるものとなります。

以上